

神奈川県環境基本計画の改定素案に対する意見と対応（会議後提出意見を含む）
 <令和5年8月29日開催 第77回環境審議会>

番号	委員	項目	意見等	対応
1	鈴木会長	第3章 計画の推進 2 進行管理	進行管理の方法として、「県は、毎年度、各施策分野の指標と各個別計画に基づく施策の取組状況から、多角的かつ総合的に分野全体の進捗を把握」とあるが、具体的にはどのような方法を考えているのか。総合的な評価は必要なので、そういった意味がうまく伝わる表現になるよう工夫するとよい。	指標の実績だけでなく、各施策の実施状況も併せて把握し、各施策分野全体の状況を把握します。指標についても、施策の効果を象徴的に表すことのできるものに見直します。さらに、複数の施策分野の進捗を、統合的な視点から検証するよう努めます。なお、素案51ページ（第3章 計画の推進 > 2 進行管理）の表記を、「県は、毎年度（中略）多角的かつ総合的に分野全体の進捗を把握します。」を「県は、毎年度（中略）総合的に分野全体の進捗を把握します。」に変更しました。
2	本山委員	第2章 施策分野 1 気候変動への対応 (2) 主な施策 イ 適応策 (ウ) 自然生態系分野	「丹沢山地におけるブナ林の衰退」並びに「暖海性の魚類等の増加」とありますが、丹沢山地から人間の生活エリアまで生息域が広がっているシカ、イノシシ、クマなどの野生鳥獣の分布状況の把握やその対策に取り組む旨についても記載するべきではないでしょうか。 (例) 「ブナ林の衰退や野生鳥獣の生態系の変化、分布状況の把握について、～」	国による「気候変動影響評価報告書」（2020年12月公表）において、ニホンジカについては、気候変動の影響による積雪の減少等が高山帯などへの分布域拡大に影響しているとされていますが、高山帯のない神奈川県においては、そのような気候変動の影響が顕著とは言えないことから、適応策には記載していません。 野生鳥獣の分布状況の把握及び対策については、施策分野「自然環境」における施策において、取組を進めます。
3	本山委員	第2章 施策分野 2 自然環境の保全 (1) これまでの取組と課題 ● 水源環境の保全・再生	文末が「一定の成果が見られています。」で締められています。p. 25 「(1) これまでの取組と課題」の文末にあるように「良質な水を、将来にわたって安定的に確保するための施策を、引き続き推進していく必要があります。」という旨の一文の追記が必要ではないでしょうか。	素案を修正しました。（27ページ） 次の表現を追加 「大綱の目的である『良質な水の安定的な確保』に向けて、引き続き水源環境の保全・再生に取り組んでいきます。」
4	本山委員	第2章 施策分野 2 自然環境の保全 (1) これまでの取組と課題 ● 自然環境の保全に資する広域的な取組 及び (2) 主な施策 イ 自然環境の保全に資する広域的な取組 (ア) 野生鳥獣との共存を目指した取組	①「棲み分け」と「共存」という言葉について、エリアを区分して棲み分けること＝共存と表現しているようですが、「共存」では同じエリア内というイメージであるため、「共存」という言葉を用いずに「棲み分け」で統一してはどうでしょうか。 ②鳥獣が「いきもの」、「野生鳥獣」、「外来生物」、「被害をもたらす鳥獣」と様々な用語で表現されており、市町村の行政間では「有害鳥獣」という用語も多く用いられています。用語の定義をはっきりとさせ（p. 65用語集）、明瞭に使い分ける必要があると感じます。 ③近年、人間の生活エリアへの出没が増加しているツキノワグマの位置付け（有害鳥獣であり希少鳥獣でもある）、取扱方針や対策について記載が必要ではないでしょうか。	①自然環境分野における個別計画である「かながわ生物多様性計画」においても、野生鳥獣との「共存」を目指して、人と鳥獣との「棲み分け」を行うという表現をしています。「共存」を目指す姿、「棲み分け」をそのための手段という意味合いで使い分けをしていますので、本計画においても、全てを「棲み分け」に統一はしません。 なお、26ページの「野生鳥獣との共存（棲み分け）（中略）」といった取組を（中略）実施してきました。」部分は、上記の考えに基づき、野生鳥獣との棲み分け（中略）といった取組を（中略）実施してきました。」に修正しました。 ②計画素案は、他の計画等との整合や各項目の内容を踏まえながら作成しているため、現在の表現は修正しません。 なお、用語集に掲載する用語については再度精査しますが、一般的と考えられる文言については、掲載しない予定です。 ③ツキノワグマについても、他の鳥獣と同様、人との「棲み分け」が対応の基本となるため、本計画においては、28ページの記載（ア）野生鳥獣との共存を目指した取組）程度にとどめたいと考えます。